

《症例報告》

^{201}Tl および $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -MIBI により描出された前立腺癌の
遠隔リンパ節転移の 1 例

池窪 勝治* 日野 恵* 伊藤 秀臣* 大塚 博幸*
才木 康彦*

要旨 ^{201}Tl および $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -MIBI スキャンにより検出された両鎖骨上窩・縦隔・両肺門リンパ節への転移性前立腺癌のまれな症例を報告する．頸部・縦隔リンパ節生検による PSA 免疫組織化学染色により転移性前立腺癌 (腺癌) と診断された．骨および ^{67}Ga シンチグラムは正常であった．血清 PSA 値は高値 (490 ng/ml) であった．除睾術と内分泌療法 (Bicalutamide) により CT 上リンパ節転移は消失した．鎖骨上窩リンパ節転移の原発巣の検索には前立腺癌も考慮すべきであり，リンパ節生検の PSA 免疫組織化学染色と血清 PSA 測定が重要である．

(核医学 40: 439-443, 2003)